



わかば

流山市立北部中学校
令和2年11月4日
生徒数 531名

『Resilience(レジリエンス)』諦めない心を大切に!

校長 大館 昭彦

一雨毎に秋が深まっていくようです。11月、日中のさわやかな気候とは違い、朝夕はめっきり気温が低くなってきました。季節は確実に進んでいるようです。明日は流星祭を迎えます。今年新型コロナウイルス感染症予防のため、例年とは形を大きく変えて実施します。保護者・地域の皆様にご来校いただけないのは大変残念ですが、生徒の健康を第一に考えた上でのこと、どうかお許しいただきたいと存じます。3年生の合唱録画(コンクール)と1・2年生の学年球技大会を午前中に、そして文化系各部の発表を午後に行います。球技大会では先日の3年生の大会と合わせ、シスターでの合計得点でも競います。どうか生徒たちへの励ましを宜しくお願い申し上げます。

さて、先月末から3年生は三者面談が始まりました。自分の進路選択の方向を決める大切な面接です。並行して校長面接を実施していますが、どの生徒も自己を見つめ、確実な歩みを前に進めようと努力しています。

今年から公立高校の入試制度が変わり、前・後期選抜の2回実施されていた学力検査が1回になります。また、新型コロナウイルス対策のため、入学説明会や体験入学が中止されオンラインでの開催になったり、申し込み順による少数での実施となったりで、例年よりも情報収集がしにくい状況にあります。夏休み以降積極的に各自が取り組んで今回の面談を迎えている3年生ですが、更に自分の目標を見据え、適切な進路先はどこなのか、日々の努力と共に深く考えています。単に成績のみで判断しようとするのではなく、少しでも自分の目標に近づくため、適切な進路選択をしようと真剣に取り組んでいるのです。

今、生徒たちには『Resilience』諦めない心を大切にしてほしい。そんな思いを込めて面談をしています。15歳、自分の人生に結論を出すにはまだ早過ぎます。山あり谷ありが人生、全てが順風満帆に進めばそれにこしたことはありませんが、簡単にはいかないのもまた人生だということです。時には挫折を味わったり、大きな壁にぶつかることもあるでしょう。そんなときでも、諦めずに立ち向かっていけるような、夢や希望を大切にできる人であってほしいと思います。将来やりたいことがまだ見つからない生徒達もいます。そんな生徒達は、これから進む進路先で自分の進むべき方向を見つけられればいいのです。決して焦らず、しかし諦めずに努力を惜しまない、何らかの問題意識を常に持ち続けられる生徒達であってほしいと願っています。

保護者・地域の皆様、自分の目標に向かい全力で取り組もうとしている生徒たちですが、まだまだ道に迷い、悩むことも多いのではないかと思います。そんなときはどうか声をおかけください。皆様のお力をお借りしつつ、次代を担う大切な生徒たちを、さらに大きく育てていきたい、教職員一同の切なる願いです。今後とも、本校生徒並びに教職員一同へのお力添えを、宜しくお願い申し上げます。

